

大学番号：私22

注3

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

神戸医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科

注2

## 【届出】設置に係る改善意見等対応状況報告書

学校法人都築学園

平成29年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局

職名・氏名 ジムチョウ マルヤマユウジ  
事務長 丸山裕嗣

電話番号 0790-22-2620

（夜間） 0790-22-2741

F A X 0790-23-0662

e-mail yuji-maruyama@sw.kinwu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 社会福祉学部

＜社会福祉学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 既設大学等の状況	2
3. 教員組織の状況	4
4. 前年度のAC調査において付された意見への対応状況	5

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人都築学園

## (2) 大学名

神戸医療福祉大学

## (3) 大学の位置

姫路キャンパス

〒679-2217

兵庫県神崎郡福崎町高岡字塩田1966番地の5

大阪天王寺キャンパス

〒543-0042

大阪府大阪市天王寺区烏ヶ辻2-1-4

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
社会福祉学部 社会福祉学科 学士(社会福祉)	社会学・社会福祉学関係	4年	250人 200人  170人	年次 — 人	1000人 800人  680人	変更前入学定員250人 収容定員1000人 平成27年度4月変更(27) 変更前入学定員200人 収容定員800人 平成29年度4月変更(28)

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。  
 ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

## 2 既設大学等の状況

大学の名称	神戸医療福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<< A C対象学部等 >> 社会福祉学部 社会福祉学科	4	170	-	680	学士 (社会福祉学)	0.49	平成25年度	兵庫県神崎郡福崎町高岡字塩田1966-5	
社会福祉学部 健康スポーツコミュニケーション学科 経営福祉ビジネス学科	4	100	-	400	学士 (健康福祉学)	0.94	平成23年度	兵庫県神崎郡福崎町高岡字塩田1966-5	
	4	130	-	520	学士 (社会福祉学)	1.18	平成21年度	兵庫県神崎郡福崎町高岡字塩田1966-5 大阪府天王寺区烏ヶ辻2-1-4	
福祉健康スポーツ学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	平成21年度	兵庫県神崎郡福崎町高岡字塩田1966-5	平成23年度より学生募集停止
臨床福祉心理学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	平成16年度	兵庫県神崎郡福崎町高岡字塩田1966-5	平成25年度より学生募集停止
生活医療福祉学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	平成12年度	兵庫県神崎郡福崎町高岡字塩田1966-5	平成25年度より学生募集停止
福祉産業学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	平成12年度		平成26年度学科廃止
介護福祉学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	平成12年度		平成26年度学科廃止
大学の名称	第一薬科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
薬学部									
薬学科	6	113	-	678	学士(薬学)	1.03	平成18年度	福岡県福岡市南区玉川町22番1号	
漢方薬学科	6	60	-	360	学士(薬学)	0.71	平成28年度	福岡県福岡市南区玉川町22番1号	
薬剤学科	4	-	-	-	学士(薬学)	-	昭和42年度		平成25年度学科廃止
製薬学科	4	-	-	-	学士(薬学)	-	昭和42年度		平成25年度学科廃止
大学の名称	日本薬科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
薬学部									
薬学科	6	260	-	1560	学士(薬学)	1.08	平成23年度	埼玉県北足立郡伊奈町小室10281	
医療ビジネス薬学科	4	90	-	360	学士(薬学)	0.98	平成25年度	東京都文京区湯島3-15-9	
医療薬学科	6	-	-	-	学士(薬学)	-	平成16年度	埼玉県北足立郡伊奈町小室10281	平成23年度より学生募集停止
漢方薬学科	6	-	-	-	学士(薬学)	-	平成16年度	埼玉県北足立郡伊奈町小室10281	平成23年度より学生募集停止
健康薬学科	6	-	-	-	学士(薬学)	-	平成16年度	埼玉県北足立郡伊奈町小室10281	平成23年度より学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

### 3 教員組織の状況

〈社会福祉学部 社会福祉学科〉

#### (1) 設置基準上の必要専任教員数

現在（報告書提出時）における設置基準上の必要専任教員数	うち、現在（報告書提出時）における設置基準上の必要教授数
13 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

#### (2) 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)
23	3	10	3	39	14	6	5	2	27
(19)	(3)	(8)	(3)	(33)					

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

#### (3) 年齢構成

年齢構成	
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
教授 65 その他60 歳	9 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

#### 4 前年度のAC調査において付された意見への対応状況

意見		履行状況	未履行事項についての実施計画
<p>・必修の専門科目で主要な科目である「障害者福祉論Ⅰ」、「ソーシャルワーク総論」については、現在専任教員が担当しておらず、大学設置基準10条に抵触しているため、早急に専任教員を配置すること。（社会福祉学部社会福祉学科）</p>	<p>是正意見</p>	<p>必修の専門科目で主要な科目である「障害者福祉論Ⅰ」、「ソーシャルワーク総論」について、平成29年度より専任教員を配置いたしました。</p>	
<p>・同一設置者が設置する既設学部等（神戸医療福祉大学社会福祉学部経営福祉ビジネス学科）の入学定員超過の改善に努めること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>同一設置者が設置している日本薬科大学が提出した報告書で、神戸医療福祉大学の定員充足率についての記載ミスがあったために改善意見を付すこととなり大変なご迷惑をお掛けいたしました（2月27日に設置室にメールでご報告）。実際は1.19倍であり、1.3倍を下回っております。</p>	
<p>・同一設置者が設置する既設学部等（神戸医療福祉大学社会福祉学部健康スポーツコミュニケーション学科）の定員充足率が平均0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>同一設置者が設置している日本薬科大学が提出した報告書で、神戸医療福祉大学の定員充足率についての記載ミスがあったために改善意見を付すこととなり大変なご迷惑をお掛けいたしました（2月27日に設置室にメールでご報告）。実際は0.95倍であり、0.7倍を上回っております。</p>	
<p>・当初39人の専任教員を配置する計画であったが、完成年度において25人の専任教員しか配置されていない。当初計画よりも教員が少ないことと、国家試験対策等、担当科目の授業以外にも教員が携わる業務があり、負担がかかっていることが懸念されることから、適切な教員組織となっているのかについて十分検討し、その結果を報告すること。また、必要に応じて教員を補充すること。（社会福祉学部社会福祉学科）</p>	<p>改善意見</p>	<p>本学科は複数の学科を統合するために設置した学科で、設置当初はまだ募集停止した被統合学科の学生が残っていたため、それを担当する教員を含めた必要教員数を元に設置計画を策定しましたが、それらの学生が卒業したため必要教員数も少なくなりました。しかしながら、現在の教員数が学生の教育面・生活面での指導と教員の負担面においても問題は無いかを常に検討しながら、必要な教員数の確保に努めてまいります。</p> <p>現在、平成28年度における専任教員一人当たりの平均担当単位数は16.9です。また、学生による教員の授業評価（FD委員会実施）でも5段階評価（MAX=5）に対し専任教員の総合的評価の評定平均は4.48であり授業の質も高く保たれております。国家試験対策については他の業務負担とのバランスを計りながら実施しております。本年度は、ご指摘をもとに設置基準数の25人から2人の教員の増員を行ないましたが、次年度も必要に応じて教員を補充してまいります。</p>	

<p>・学生が集まっていないことに対して入学定員の変更や学生確保に向けた様々な取り組みを行っていることは認められるが、実効性のある取り組みとなっているのかについて懸念がある。原因分析を十分に行った上で、それに見合った対策を行うこと。(社会福祉学部社会福祉学科)</p>	<p>改善意見</p>	<p>教職員の学生募集業務への参画についての効果測定として、高校生がオープンキャンパスに参加した際のアンケート、さらに新生が入学時に行うアンケートの分析によりそのニーズ把握を実施しております。特に新生を対象に実施した調査では「受験校を決定する際に(本学・本学以外を問わず)、何を重視したか?」という質問に対する回答で、「資格の合格率」(1位)、「学科の内容」(2位)、「学生寮」(3位)という結果が出ており、これを短期的課題として取り組みに着手しております。まず、「資格の合格率」については、社会福祉士や精神保健福祉士などの国家試験の合格率UPに向けた対策指導を強化しています。「学科の内容」については、平成29年度から教育課程の改善を行っていますが、PDCAサイクルによる更なる改善・改革を行なっていきます。「学生寮」については1200室の部屋数にプラスして寮費特待生制度による経済的な負担軽減をも整えています。今後も広報活動等を通してステークホルダーへの周知徹底に努めていきます。</p> <p>中・長期的には、高大連携(現在4校と協定書締結)に力を入れ、高等学校との教育・部活面での連携を密にしていくことで、さらなるニーズの把握とその社会資源となることで学生確保に繋がるよう努めていきます。</p>	
<p>・社会福祉学部社会福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>学生確保については、魅力ある学科へ改善が必要と考え、学生募集を通して得たステークホルダーの情報をもとに、平成29年度より学科の教育課程の改善を行ないました。具体的には学科内のコースを撤廃することで、横断的な資格や科目の選択が可能になり学びが多様化されました。また高等学校との連携を強化して学生確保につなげるために高大連携協定書を結ぶ方針を打ち出しました。昨年11月には、地元の福崎高等学校を第1号に、現在4つの高校との協定を結んでおり、更に増やすために段階的に取り組んでいます。福崎高校とは、地元の生徒・学生を協働で育てて、地元就職・貢献していく人材を育てるという“地域循環”をコンセプトにした高大連携プロジェクトを推進しています。地元福崎町の特産のもち麦や柳田國男先生の民俗学(妖怪)など地元の特性を活かした町おこしを推し進め、地方創生の観点から自治体との連携を強化し、特色を活かした中長期的な学生募集計画を推進しております。また、社会情勢や社会福祉分野のニーズを考慮して、社会福祉学科の入学定員を200人から170人に変更(平成29年度)するなどして定員充足率の向上に努めています。</p>	

<p>・社会福祉学部社会福祉学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>大学設置基準7条に基づき、段階的に年齢構成のバランスと若返りを図っております。平成29年度開始時においては、70歳超の教員の退職と併せて30代の教員を複数採用することにより、退職年齢を超える専任教員の割合も40%から33%に減じており、教員全体の平均年齢は57.2歳から53.9歳へと若返っております。今後は、引き続き退職年齢を超える専任教員から若手の専任教員へとシフトしていくことに主眼をおいて採用計画を進めていきます。</p>	
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

(注) ・前年度のAC調査において付された意見への対応状況を具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

なお、未履行事項がある場合は、今後の実施計画を具体的に記入してください。

- ・同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。